



若者のひきこもり ～悩む家族とこれからの社会～

参加費
無料

現代社会における価値観の変化や家庭・学校・会社などにおけるストレスの増加、発達障害・精神疾患などの様々な原因や理由による「生きづらさ」を抱えてひきこもる若者たちが数多くいます。その数は6年前の調査では全国に約70万人、周辺にいる親和群は155万人と推計されました。昨年の2回目の調査によるとひきこる数は減少したとされるものの親和群の数は逆に増加しており、ひきこもりの長期化と高齢化も見られ、事態の遷延化と深刻さは何ら変わっていないと考えられます。ひきこもりの人たちに対する支援は広がっているものの、依然として本人やご家族の多くが社会との接点を築くことの困難さを抱えていることが指摘されています。

私たち家庭生活カウンセラーは、家庭内や近隣地域、各種機関団体、社会全般で生きる方々に対し、人間関係をはじめとする悩みごとの相談を電話や面談で実施し、市民の皆様の心情に寄り添う相談活動を展開してまいりました。

このたびの講演会では、「若者のひきこもり」という最近ではよく耳にするテーマを取り上げました。この「ひきこもり」に対する正しい知識と、具体的な対応を知っていただき、「家庭」を中心とする人間関係の健全化が私たちの願いです。

皆さまのご参加をこころよりお待ちしております。

日 時：平成29年3月4日（土）14：00～16：00

場 所：まなみーる 岩見沢市文化センター 2F 音楽室
（北海道岩見沢市9条西4丁目1番地）

定 員：150名程度（先着順・申込み不要）

講 師：高塚 雄介 先生（明星大学名誉教授・当センター相談役・臨床心理士）

明星大学名誉教授。大連市生まれ。中央大学文学部卒。中央大学学生相談室、早稲田大学学生相談センター勤務を経て、常磐大学コミュニティ振興学部・人間関係学部併任教授。2006～年明星大学人文学部教授、大学院研究科長を務める。この間、東京都教育相談センター、東京都児童福祉相談センタースーパーバイザー、東京都立松沢・府中・青梅看護学校、杏林大学医学部付属看護学校講師、専修大学文学部講師などを務める。前日本精神衛生学会理事長、現(公益財団)日本精神衛生会理事、東京都自殺防止対策委員。

内閣府 子ども若者育成支援推進法評価検証構成員などを務める。



主催：公益社団法人北海道家庭生活総合カウンセリングセンター

共催：岩見沢家庭生活カウンセラークラブ

後援：岩見沢市・岩見沢市教育委員会・岩見沢市社会福祉協議会（予定）